



JAL不当解雇撤回ニュース

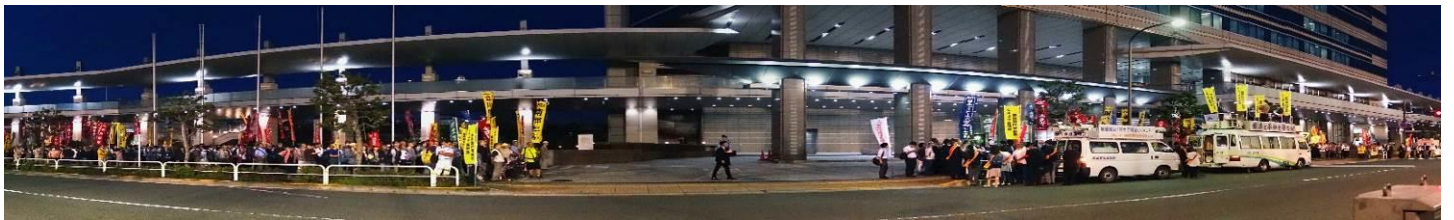
No493 号 2016.05.22
発行: JAL 解雇撤回国民共闘事務局
連絡先: 航空労組連絡会事務局
〒144-0043 大田区羽田 5-11-4
フェニックスビル内
TEL: 03-3742-3251 FAX: 03-5737-7819
<http://www.jalkaikotekkai.com>

5. 13 本社包囲大行動

～負けない・怯まない・手を緩めない～



5月13日、初夏の日差しから一転、爽やかな風が天王洲のJAL本社前に林立した幟をはためかせました。冒頭、解雇撤回・争議解決を求めて集結した約500名の支援者により、熊本地震で亡くなられた方への黙祷が行われました。“不当解雇は許さない、解雇自由は許さない”と、駆けつけた多くの支援者の皆様によって原告団はまたパワーを頂きました。要請団に対しては相変わらずの対応でしたが、応えぬなら応えるまで私達は何度でも話し合いを求めてやってきます。私達は絶対に諦めません。



連帯の挨拶

☆安倍政権は戦争法だけでなく労働法制でも、この国を変えようとしている。JAL争議は労働法制改悪との闘いである。最後まで闘う。 **全労協・金澤議長**

☆なぜ165名を戻して全社一丸で再建にあたり、チーム日本航空にしないのか。「必要のない解雇」稲盛発言は永久に消えない。 **全国港湾・糸谷委員長**

☆早く解決してベテランを戻す。働く人を大切にされた方がJAL自身発展する。 **全労連・井上事務局長**

☆おかしい事をおかしいと言う事がまともな世の中にする。不当解雇に対しても声を上げよう、団結しよう。職場と地域から頑張る。 **国労・坂口委員長**

☆JALは165名を復帰させる勇気もない、情けない会社。組合潰しは会社にとってマイナス、潰そうとすると必ず事故や弊害がある。労使の話し合いを！

JMITU・IBM 支部大岡委員長

職場からの訴え

☆職場の過半数が2012年以降の採用の新人であり、経験層の負担が大きい。低賃金・高稼働でこの先いつまで仕事を続けられるか不安に思っているCAが多い。組合の力が問われている。ILO勧告に対する塩崎厚労大臣発言・行訴高裁判決があるものの油断はできない状況だ。ILO勧告を生かすも殺すも私達次第、その為内圧外圧を最大限に高めたい。

これからも皆さんの支援が必要。 **CCU・開執行委員**

原告からの決意表明

☆2015年度の決算、2091億の史上最高益は職場の労働条件向上と被解雇者を職場に戻す為に使ってほしい。CAは既に3000人が採用された。これだけ採用するなら私達を職場に戻していいはず。春闘では交渉の扉は閉じたまま、夏闘でぜひ開けさせたい。

飯田女子事務局長



相変わらず入館拒否

☆最高裁決定は違憲ではないということで、不当解雇であることに変わりはない。植木社長は「解雇撤回はコンプライアンスに反する」と強弁。それなら行訴の判決に従うべきで、解雇撤回できない理由が見当たらない苦しさの表れである。解雇は究極の差別選別の形、165名をそのままに職場の秩序はガタガタになっている。史上最高の営業利益、ILO勧告や行政訴訟判決など有利な状況となっている。職場の運動と世論を拓げて不当解雇撤回をめざす。 **山口乗員団長**